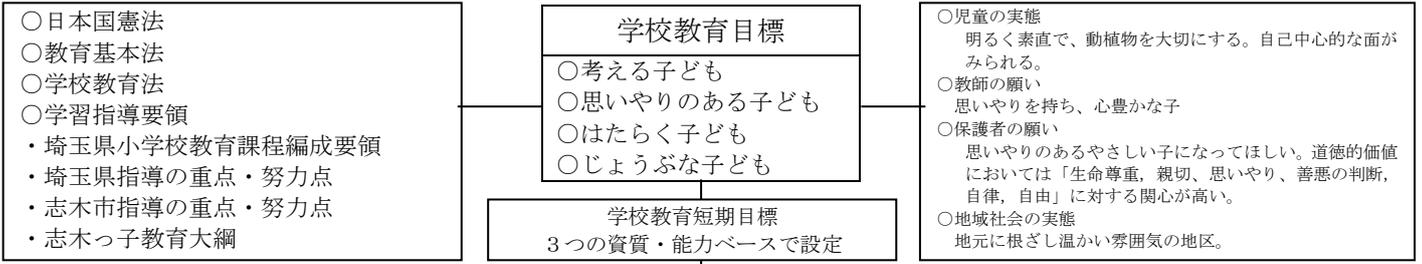


令和3年度 特別の教科 道徳 全体計画

志木市立宗岡第四小学校



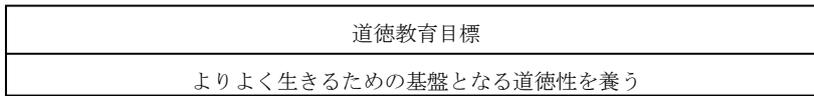
目指す学校像
笑顔 感動 いっぱい 虹色に輝く みんなの学校 ～主体的な教育活動を創造～

校長の道徳教育の方針

道徳教育の推進にあたり、道徳科をはじめとする全教育活動、体験活動ならびに家庭・地域との連携において、道徳性の育成に向け、全職員や関係者で着実に実践していく。

【具体的方針】

- ① **ローテーション道徳**の導入及び管理職等による授業 ②道徳の授業等に保護者・地域の方をゲストティーチャーとして招く



道徳教育の重点目標

- A 個性の伸長を図る 希望と勇気、努力と強い意志をもつ B 思いやりの心をもち親切にする
C 規則を尊重する 働くことのよさや大切さを知る D 生命を大切にする

低・中・高学年別の道徳教育の重点目標

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴に気づきよさを伸ばそうと努力する ・自分でやるべきことは最後までしっかりやる ・身近にいる人に温かい心で接し親切にする ・約束や決まりを守り、みんなが使うものを大切に ・働くことの良さを知り、みんなのために働く ・生きることのすばらしさを知り生命を大切にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴に気づきよさを伸ばす ・自分で決めた目標に向かって強い意志をもって粘り強くやり抜く ・相手のことを思いやり進んで親切にする ・約束や社会のきまりの意義を理解し進んで守る ・働くことの大切さを知り進んでみんなのために働く ・生命の尊さを知り生命あるものを大切にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴を知り良さを伸ばし、理想に向かって努力する ・より高い目標を立て希望と勇気を持ち、困難があってもくじげずに努力して物事をやり抜く ・法や決まりの意義を理解した上で進んで守る ・働くことの大切さを知り進んでみんなのために働く ・生命が多くの人々のつながりのなかにあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する

各教科、外国語活動
○各教科のねらいを達成する課程で道徳性を養う。
○学習意欲を高め、よりよい学習態度の習慣化を図る。
○学習過程で、児童相互の理解を深め助け合う態度を養う。

特別活動
○望ましい集団生活を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育成する。

総合的な学習の時間
○道徳性を基盤とし、体験的な学習活動などを通して「生きる力」として根付かせる。
・自ら切実な課題に取り組む学習を通して自己の生き方を探求させる。
・活動などを通し自己を振り返らせ自分なりのよりよい価値観を育むようにする。

特別の教科 道徳
○各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動などで行われる道徳教育を補充・結合する。
○道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳実践力を育成する。
○一人一人が自分の考え方や感じ方を安心して表現できる学級経営を行う。
○児童に教え込もうとしない。
○楽しい道徳科の時間になるよう指導方法を工夫する。
○資料の共有化を図り授業改善に努める。

年間指導計画

校内推進体制
○校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に計画・実行・評価・改善を行う。
・職員に向けた道徳通信の定期的発行・情報提供
・年1回の公開授業、研修、学校評価 など

幼・保・中・高・家庭・地域社会との連携
○家庭、地域社会と一体となった教育環境を作り、同歩調で子育てにあたる。
・家庭訪問・各種たよりホームページ公開
・幼・保・中連絡会議・各行事、授業公開など
・道徳の授業等に保護者・地域の方をゲストティーチャーとして招く

生徒指導
○実践を通して、基本的な生活習慣の向上を図り正しい判断の下に行動できる能力や態度を育てる。
○教育相談体制の充実
・相談ボックスの設置
・全教職員で相談に応じる

日常的生活の場面における指導
○朝の始業前、休憩時間、放課後、給食の時間、朝や帰りの話し合いの時間、清掃の時間などで個別的な共感的対応をし、教師と児童、児童相互の人間関係を深める。

学校環境の整備
○児童が明るく楽しい学校生活を送れるようにする。
・人間関係の充実
・道徳的な雰囲気作り
・校舎、校庭や教室の整備

人権教育
○偏見や差別、いじめを許さない態度を育てる。